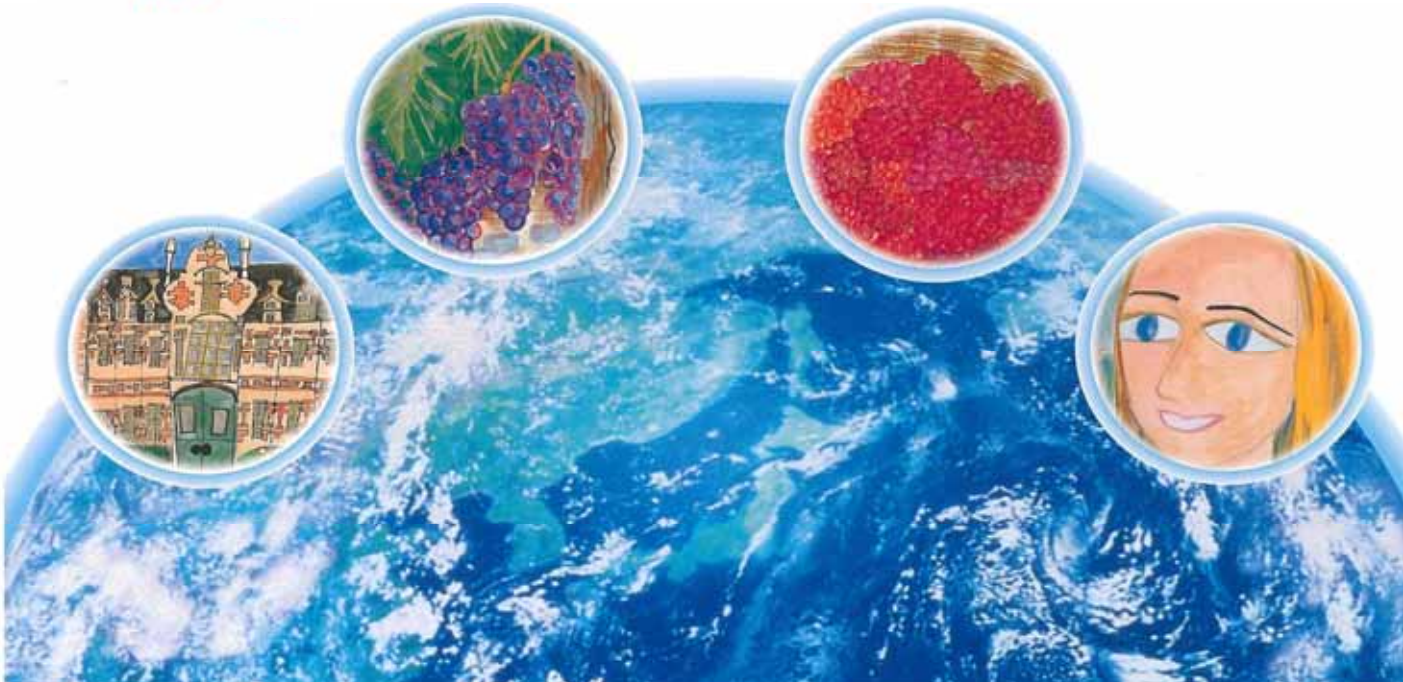
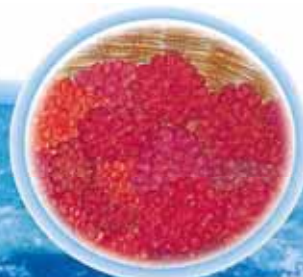
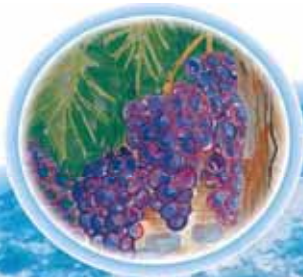


AIDS 2007



World Foundation Aids Research and Prevention
世界エイズ研究予防財団 日本事務所 通信





Messages from World Foundation for Aids Research and Prevention

世界エイズ研究予防財団理事長 リュック・モンタニエ博士



世界エイズ研究予防財団は、ユネスコの協賛により設立され、発展途上国のエイズ患者への支援を中心に活動しています。私どもの日本事務所は予防教育に大変力を注いでおり、この活動が広がっていくことを心より希望しています。

Prof. Luc MONTAGNIER

HIV(エイズウイルス)発見者
フランス医学アカデミー会員
フランス化学研究センター研究部長
ルイ・パスツール研究所教授(～1997)
ニューヨーク大学クイーンズカレッジ
分子生物学センター教授兼部長(～2001)
世界エイズ研究予防財団理事長(1993～)

-受賞暦-

CNRS 銀メダル
ガン医学ローゼン賞
レジオン・ドヌール・ナショナル勲章

1932年8月18日生まれ。パスツール研究所の共同研究者を率い、1983年、世界に先駆けて後天性免疫不全症候群(エイズ)の病原体であるヒト免疫不全症ウイルス(HIV)を発見し、HIV研究の糸口を開きました。1986年、モンタニエ博士のグループは、第2のエイズウイルス HIV を新たに発見。1991年には、彼の研究チームによってHIV感染者の体内でTリンパ球が消失するメカニズムがアポトーシス(プログラムされた細胞死)であることが突き止められました。

エイズの爆発的な増加を危惧したモンタニエ博士は、1993年に、当時ユネスコの総裁であったフェデリコ・マヨール氏と共に、パリのユネスコ本部に世界エイズ研究予防財団を設立しました。そしてエイズの被害の最も大きい地域であるアフリカに予防や治療の新たな発展の成果を導入するためコートジボアールの首都アビジャンにエイズ研究センターを開設しました。多くの診療所や病院が近年の状況に苦しむ中、センターにはますます多くの患者さんがつめかけています。また、カメルーン共和国のヤウンデに、財団による二番目のエイズ研究センターが平成18年2月23日新設されました。現在、モンタニエ博士は、高価でずっと服用が必要である現在のエイズ治療法に代わる免疫を高める食品と治療用ワクチンの開発に取り組んでおり、臨床試験に向けて日夜研究を続けています。



Messages from World Foundation for Aids Research and Prevention

日本事務所代表 林 幸泰

最近の厚生労働省の発表によりますと、昨年度の新規HIV感染報告では、20～30代の若い感染者が627人と全体の約7割を占め、10代の感染者も17人報告され、前年より大幅に増えています。また、約10年間 HIV感染を知らず、病気が発症し病院で初めてエイズだとわかるケースが全体の約3割を占めています。日本は今もって唯一先進国G8の中で、HIV感染者・エイズ患者が毎年増加している国なのです。

HIVから身を守る最大のワクチン、それが予防教育です。子供は国の宝であるのに、現在、世界では年間約29～50万人もの15歳未満の子供達がエイズで亡くなっています。

(UNAIDS / WHO発表)

一人でも多くの子供たちを守れたらと、私は思っております。

世界エイズ研究予防財団 日本事務所
代表 林 幸泰



世界エイズ研究予防財団 日本事務所は、山と緑に囲まれた自然の豊かな岐阜県揖斐郡大野町に1997年に設立されました。財団では「エイズの最良のワクチンは教育である」という考えに基づき、地元大野町を中心に、小中学校やPTA等のご理解のもと、対話を通じた



世界エイズ研究予防財団 日本事務所

草の根エイズ予防活動に努めております。又、地方レベルでのエイズ予防教育に加え、チャリティーコンサートの開催といった音楽とエイズ予防教育を組み合わせた独自の活動も展開しています。スタッフ一同、ひとりでも多くの方が正しい知識を持ち、エイズにかからないよう、エイズ予防活動に努めて参りますので、今後とも暖かいご支援の程宜しくお願い申し上げます。



World Epidemic of Aids / HIV

世界のHIV/AIDS流行状況 (2006年末現在 UNAIDS / WHO発表)

3950万人

現在エイズと共に生活している人 (生存中の感染者及び患者数)

総計	3950万人 (3410-4710万人)
うち成人	3720万人 (3210-4450万人)
うち女性	1770万人 (1510-2090万人)
うち 15歳以下の子供	230万人 (170-350万人)

昨年1年間の新規HIV感染者数

総計	430万人 (360-660万人)
うち成人	380万人 (320-570万人)
うち15歳以下の子供	53万人 (41万人-66万人)

昨年1年間で亡くなったエイズ患者数

総計	290万人 (250-350万人)
うち成人	260万人 (220-300万人)
うち15歳以下の子供	38万人 (29-50万人)

上記の数字は、入手可能な最良のデータを基にして算出された推計値であり、()内の範囲に実際の数値が存在します。



HIV / エイズが世界の脅威と言われ始めてから20余年。この間、世界は「エイズ」を主に「おとなの問題」として捉え、対策や支援もおとなを中心に実施され、HIV / エイズによって直接・間接の影響を受けている「子どもたち」の問題には関心が寄せられませんでした。確かに、現在でもHIV感染者・エイズ患者の大半は成人ですが、エイズ関連の病気で死亡する6人に1人、そして、新たに感染する7人に1人は15歳未満の子どもたちなのです。

毎日、15歳未満の子ども1400人が、エイズに関係のある病気で命を失っています。

毎日、15歳から24歳までの6000人以上の若者が、新たにHIVに感染しています。

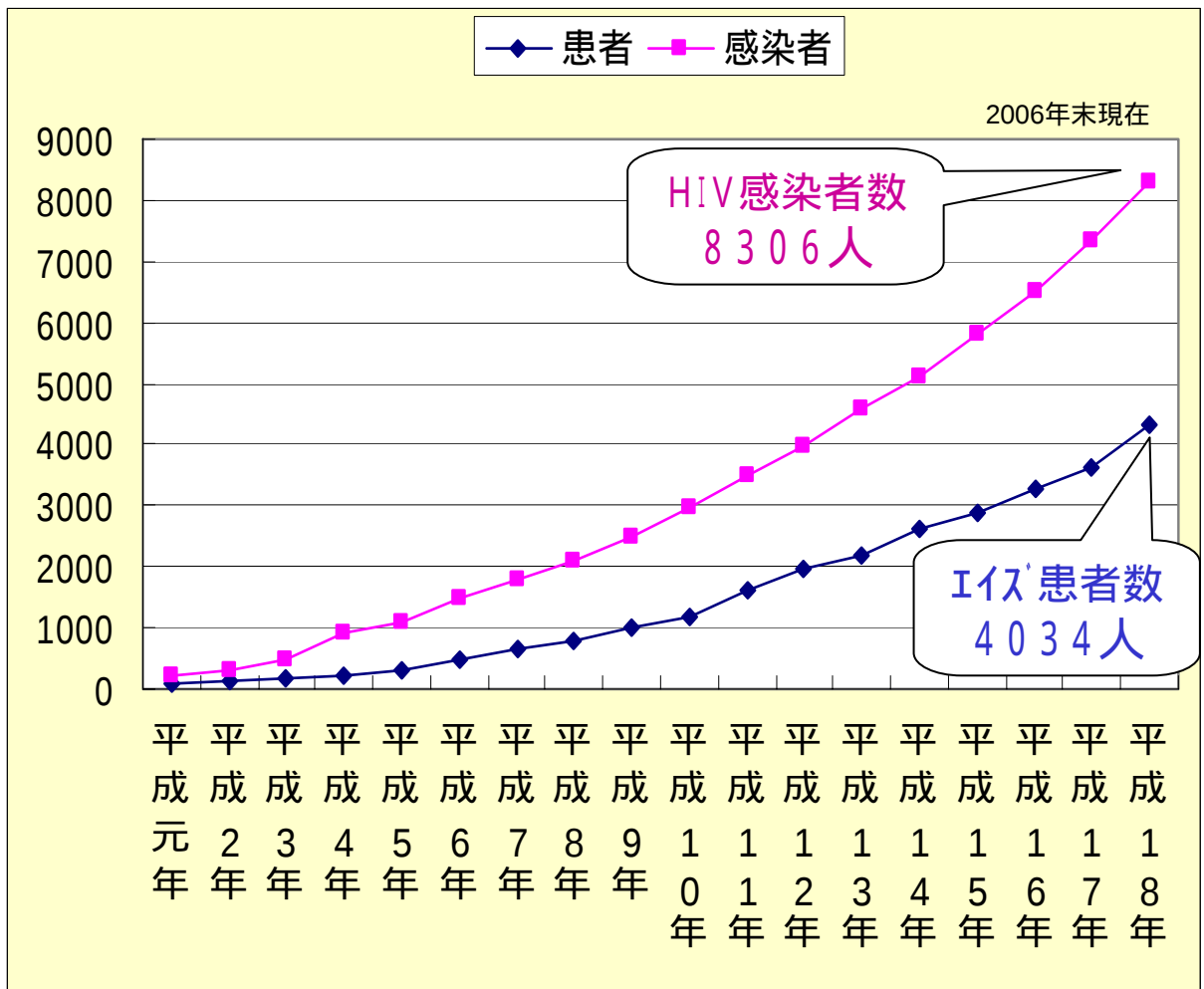
全世界で1500万人以上の子どもたちが、親(一方または両方)をエイズ関連の病気で失っています。

(ユニセフホームページより抜粋)



Current Situation in Japan

日本のHIV感染者・AIDS患者報告数累計推移



平成18年1年間の新規HIV感染者報告数は952件、新規エイズ患者報告数は406件、あわせて1,358件(1日あたり3.7人)で、いずれも昨年までと比較して過去最高を記録しました。この数字は、世界の他の国と比べれば少ない数字かもしれませんが、この数字はあくまでも『報告数』であり、自分が感染していると気がついていない感染者の数を合わせると、この5倍から10倍になるのではないかと専門家の意見も聞かれます。また、感染者の感染経路は、**性的接触による感染者が86%**(同性間による性的接触約63%、異性間による性的接触約23%)を占め、また年齢別では、**20~30代が多数(68%)**を占めています。

Activity Reports April 2006 - March 2007

～エイズ予防講演編～



世界エイズ研究予防財団日本事務所では、学校と提携しながら子供たちにとって必要なエイズ予防教育とは何かをテーマに講演活動を行っております。そのためには、専門知識よりも、本当に必要な情報をふれあいを通じて心で感じるのではないかと、試行錯誤しながら取り組んで参りました。

本年度は、その活動の場が高等学校へと広がり、延べ約3,500人の若者との対話を通じ、実りある活動を行うことができました。講演を企画・ご依頼いただいた先生方に、改めまして感謝申し上げます。又、感想を送ってくださった高校生の皆様、ありがとうございました。その一部ですが、講演の様子とともに下記に紹介します。



エイズというのは本当に難しい病気だと感じました。いつ発病するかわからないし、検査をしないと自分でわからないし、治るわけでもないから感染する前の予防が一番大切だと思いました。(3年生 女子)

中学校の時に毎年レッドリボンのフラッグアートを作っていたことがあったけれど、そのときはどうしてレッドリボンで作るのか疑問に思っていました。今回最初にその話を聞いた時、やっと理解できました。エイズに苦しむ人々への理解や支援を示すとても重要なものだと感じました。(2年生 女子)

あんまりエイズは興味なかったけれど、ひとごとではないと思いました。患者さんは、1年間に200万円も治療費がかかり、完治する方法が今はなくても、必死に病気に立ち向かっていて、いろいろな意味ですごいなと思いました。(3年生 男子)

エイズというのは、(保険も使えるけど)経済的にも精神的にも辛い病気だと思うので、予防対策も大切だし、病気に対しての理解を示していくのも大切だと思いました。(3年生 女子)

私は、エイズについて本やケータイ小説などで読んだけど、あまり身近に感じていなかった。でも岐阜県にも実際に感染された方もいて怖いと思った。でもエイズは自分で防げる。すごく、心強いというか安心した。私も今付き合っている人があるけれど、好きで付き合っているのだからいい付き合いをしたい。(2年生 女子)

エイズと聞くと自分にはあまり関係がないと思っていましたが、今日の話を聞いてとても身近なものだと思いました。感染の危険性は自分にもあるので、よく考えて今後行動していきたいです。(2年生 男子)



実際にものを使って分り易く教えてくださったので、ただ話を聞いて終わりという形にならず、集中できました。今日学んだことを、いずれ機会があったら思い出して絶対にかからないようにしたいと改めて思いました。(1年生 男子)

講話を聞いていろいろびっくりすることがありました。万が一エイズになったとしても日本は薬などがちゃんとあるが、実際他の国では薬がなく苦しんでいる人がとても多くいるのだと知って日本は恵まれているのだと感じた。日本は世界に比べてエイズに関心が低いのでしっかりと意識していきたい。(2年生 男子)

Activity Reports April 2006 - March 2007 ～エイズ予防講演編～



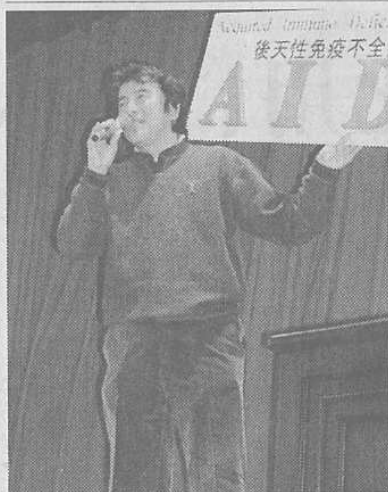
市立岐阜商業高等学校、
市立関高等学校、
県立八百津高等学校、
県立本巣松陽高等学校、
県立聾学校、
県立山県高等学校、
町立大野北小学校、
県立岐阜工業高等学校
の皆様、
ありがとうございました！

平成18年11月18日(土)付け岐阜新聞にて講演の様子が紹介されました。

エイズ知識学ぶ 本巣松陽高で講演会

高校生がエイズについて正しい知識を持ち、感染を防ぐための講演会が十六日、本巣市仏生寺の本巣松陽高校で行われ、世界エイズ研究予防財団日本事務所(揖斐郡大野町)の林幸泰代表が、日本の現状や感染経路などについて話した。写真。

同校は、エイズ予防についての啓発活動に長く取り組んでおり、林代表を講師に招くのは昨年に続いて二度目。全校生徒約八百人が参加した。林代表は、増え続けるエイズ患者数などについて、十月までに日本には約八千七十人のHIV(エイズウイルス)感染者、約三千九百五十人のエイズ患者がいると報告。県内でも同様に増えており、身近な問題として生徒に投げ掛けた。



しかし感染経路は▽性行為▽血液▽母子、による三つしかないと強調。「感染経路を理解すればエイズは防げる。愛する人のためにも自分の身を守ることを大切」と呼び掛けていた。(小西里奈)



12月1日『世界エイズデー』を挟んだ11月30日から12月2日、第20回日本エイズ学会学術集会・総会が、東京の日本教育会館・学術総合センターの二会場にて開催され、財団としては4回目のブース出展を行いました。『Living Together』という 総合テーマの下、基礎・臨床・社会に関する広範囲なテーマで 20以上のシンポジウムが催され、いろいろな立場からエイズに関わる人たちが参加した今年の学会の様子をレポートします。

TOPIC 1 展示会場の様子

財団のブースでは、講演会の写真を展示、また興味をもっていただいた方には活動報告書を配布し、財団の活動を多くの人に知ってもらおうと共に、チャリティーグッズの販売も行いました。

ブースは、医療関係者はもちろん、学生、NGO関係者など、多くの参加者で賑わい、小学生向けの講演の写真を見た人からは、『反応はどうか？』との質問を受け、

『小学生はとてもオープンで、鋭い質問が毎年たくさん出ますよ』と答えると驚かれました。

財団の活動を説明すると、大勢の方に『こういう地道な活動は大切ですね』と言われ、今後の活動へのよい励みになりました。会場では、外国のTV局が取材に来たり、最終日には「薬害エイズ」被害者の遺族が亡くなった家族への思いを託したメモリアルキルトが展示されたり、大学生のエイズ予防啓発グループの活動がビデオで紹介されたり、様々な立場から、様々な切り口で情報を発信していて、それぞれの活動はそのひとつずつに意味があるのだと感じました。





TOPIC 2 ～ LIVING TOGETHER ～

展示会場の隣には、メッセージを書き込めるボード、ゆっくりお茶を飲むスペースが用意され、まるでカフェのような雰囲気でした。その傍らでは、HIV感染者の手記が自由に閲覧できるようになっており、多くの人が訪れ、ページをめくっていました。普段の生活の中で、医療関係者でもない限り、私達が直接HIV感染者の方と接する機会はほとんどありません。しかし、手記の内容は、感染時のショックや、治療の大変さ、友達のありがたさ、生きていることの素晴らしさ、など多岐に渡っており、HIV感染者は普通の人たちで、思いもよらずにHIVに感染してしまったのだということがリアルに伝わるものでした。

今回のエイズ学会のテーマは、Living Together、公開シンポジウムや講座でも、HIV陽性者でスピーカーとして活躍されている方も何名かいらっしゃいました。自分のプライバシーをさらして話すというのは大変勇気のいることだと思いますが、彼らの発言のおかげで、『HIVを持ってる人もそうじゃない人もわたしたちはもう、いっしょに生きている』、そういう時代なのだという認識が生まれ、予防の上でも人々の意識を変えていく一歩になっていくのではないかと思います。

(手記についての詳細は、<http://www.ptokyo.com/>)





HIV検査体験レポート！

感染の有無を確実に知るには、感染の可能性のある機会があって3ヶ月以上経ってから検査を受けるしか方法はありません。保健所では、無料・匿名で検査を受けることができますが、いざ検査となるとどうすればいいのかが疑問も多く、保健所に足を運ぶまでには勇気も必要でしょう。検査を受ける利点は、もし感染していないことがわかれば不安を解消できます。また、もし感染がわかった場合、早く感染がわかれば必要があれば治療を受けながら体調の管理もしやすくなります。保健所では電話相談も随時受け付けているそうです。財団では、スタッフが保健所へ行ってHIV検査を受けてみましたので、実際の流れを順を追って紹介します。

1. 電話で検査を予約

インターネット()で、**検査を受けられる保健所**を調べ、岐阜市保健所に電話をしました。HIV検査を受けたい旨を伝え、感染の心配があってから3ヶ月がすぎているかと、年齢・性別を聞かれました。(氏は聞かれませんが)検査は週に1回(第1、2月曜は通常検査、第3、4月曜は即日検査)ですが、予想以上に混んでおり予約を取れたのは1ヶ月先でした。

インターネットによるHIV検査についての情報

●エイズ予防情報ネット

全国の自治体の相談・検査窓口一覧など、様々な情報が紹介されています。

<http://api-net.jfap.or.jp>

<http://api-net.jfap.or.jp/i> (携帯電話から)

2. 受付

予約した日時に保健所へ行き、受付で予約番号を伝えました。岐阜市保健所では、受付で他の人に会うことはないよう完全予約制となっています。



体験レポートを終えて・・・

とても親切に対応してくださり、安心して検査を受けることができました。保健所の方も、不安な方はまずは電話をしてほしいと話されていました。

3. 検査前相談

担当の女性職員から、簡単な問診を受けた後、HIV検査についてわかりやすく説明してもらいました。この時、相談したいことがあれば、相談にもってもらえるそうです。



4. 採血

今回は、梅毒、クラミジアの検査も一緒にしてもらったので、約10mlの血液をとりました。結果は1週間後に聞きにくるよう言われました。即日検査の場合はHIV検査のみだそうです。



5. 結果説明と検査後の相談

陰性(-)の場合

担当の医師から、3ヶ月前以降感染の機会がなければ、今のところ感染の可能性はない旨を個室で告げられます。今後も予防に努めましょう。

陽性(+)の場合

HIVに感染していると考えられます。保健所により対応は異なるかもしれませんが、今回取材させていただいた岐阜市保健所では、陽性であった場合その後の相談はもちろん、不安な方には病院に付き添ってくれたり親身に対応くださるそうです。ひとりで悩まず相談することが大切です。



TOPIC 昨年、一昨年に引き続き、岐阜放送「チャリティースペシャル2007」で財団の活動が紹介されました！

2007年3月18日(日)、午後2時から4時、岐阜放送の『チャリティースペシャル2007』にて、当財団の活動が昨年、一昨年に引き続き紹介されました。当日は、アナウンサーを含む出演者全員がレッドリボンバッジを付け、財団代表林と、本巣松陽高校の養護教諭和田先生、渡辺先生のおふたりと、生徒代表の藤森さん、富樫くん、八百津高校の養護教諭の土岐先生が、生放送のスタジオに参加して、インタビューを受けました。

コーナーの前半では、財団の活動がVTRや写真とともに紹介され、後半のインタビューへと続きました。リハーサルでは緊張の表情をみせていた生徒さんたちも、質問にはしっかりと落ち着いて自分の意見を述べ、エイズは予防さえできれば決して怖くない病気だということを訴えました。先生方も、教員としての立場、またお子さんのいらっしゃる先生は母親としての立場から、それぞれ貴重な意見をいただきました。

林代表は、インタビューの中で、世界と日本のエイズの現状について説明、「これだけエイズがこんなに蔓延しているのはなぜか？」との質問に、HIVに感染してからエイズを発症するまで期間が長く感染に気がつかずに人にうつしてしまう危険性があることが一番の原因であると答え、気をつけなければならない感染経路についてもフリップを使いながらわかりやすく説明し、無事収録は終了しました。

御協力いただいた本巣松陽高校、八百津高校の皆様ありがとうございました。また、岐阜放送さんのご協力により、番組内容を収録したDVDをいただきました。視聴希望の方は、財団までご連絡ください。(ただし営利目的の使用は禁じられています。)



リハーサルで生徒さんと談笑中



収録直前、みなさん緊張の面持ちでした。



収録終了後、岐阜放送ロビーにて記念撮影



エイズについてこれだけは知っておこう！

エイズはHIVに感染することによって起こりますが、
HIV感染 = エイズではありません！



HIVとは

ヒューマン

Human (ヒト)

イミュノデフィシェンシー

Immunodeficiency (免疫不全)

ウィルス

Virus (ウイルス)

ウィルスの名前です。免疫のしくみの中心となるCD4陽性細胞や白血球に感染し、からだを病気などから守っている免疫を徐々に破壊します。

その人の免疫力や治療の有無によって期間は様々です。他の病気に比べてこの期間が長いこと(数年から10年以上)がこの病気の特徴で、自覚症状がなくても他人へ感染させることがあります。

エイズ(AIDS)とは

アクワイアド

Acquired (後天性)

イミュノ

Immuno (免疫)

デフィシェンシー

Deficiency (不全)

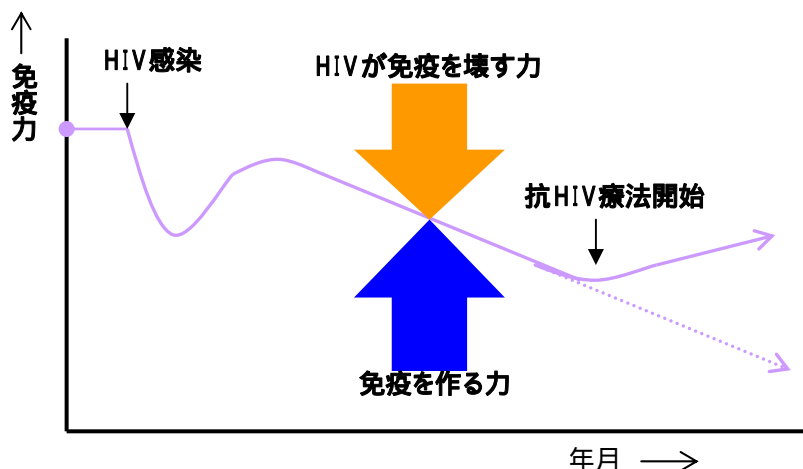
シンδροーム

Syndrome (症候群)

「生まれたあとにかかる(後天性)免疫の働きが低下すること(免疫不全)により生じるいろいろな症状の集まり(症候群)」という意味、つまり病気の総称(名前)です。

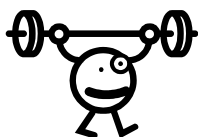
HIVに感染しても、エイズを発症していない人 = HIV感染者

免疫力の低下は、病気の進行を意味します。



現在では、様々な治療薬が出ておりきちんと服薬することでエイズ発症を予防することが可能になってきています。数種類の抗HIV薬を組み合わせる多剤併用療法が一般的です。

免疫力が、ある一定以下まで低下すると、本来なら自分の力で抑えることのできる病気(日和見感染症)を発症するようになってしまいます。



私たちの周りには数多くの細菌やウイルス、カビ等が存在していますが、私たちは「免疫」と呼ばれる抵抗力をもっているため、これらの病原体に殆ど感染することがなく、感染してもそのまま自然に治ってしまうのです。



エイズについてこれだけは知っておこう！

HIVの3つの感染経路



性行為による感染

相手がウイルスをもっている
と粘膜や傷口から

日本では感染経路の
ほとんどが性感染です。



血液による感染

注射器の共有
(麻薬の回し打ちなど)

HIVは・・・

感染力の弱いウイルスです。
軽い接触による感染・空気感染の
心配はありません。

しかし、感染の危険性は誰にでも
あります！

自分の性行動について賢い選択
(相手に不安を感じたら断る、感情に
流されない、無防備な性行動はしな
い等)が重要です。



母子感染

妊娠中母体内で
出産、授乳時に

感染経路についてのQ & A

Q1

HIVは、エイズがまだ発症してない人
からもうつりますか？

A1

うつります。HIVは、HIV感染者の血液・精液・膣分泌液な
どに含まれています。これらが直接身体の中に入ると感染
する可能性があります。

Q2

他の人が使用したカミソリや歯ブラシを
使うとHIVに感染するの？

A1

血液が付着していなければHIV感染の危険性はありません。
ただし、いろいろな感染症を避けるためにも血液の付きやす
い日用品は、自分のものを使ったほうがいいでしょう。

Q3

ネコもエイズにかかると聞きましたが、
ネコから人にうつるのですか？

A3

うつりません。ネコのエイズをひきおこすのはFIV(ネコ免疫不
全ウイルス)というウイルスです。人のエイズとよく似た症状を
おこしますが、人に感染することはありません。

HIVの治療について

講演を聞いた生徒さんから治療費についての質問が多く寄せられましたので詳しくお答えします。

Q HIV感染症やエイズの治療に健康保険は使えるのですか？ 治療費はいくらぐらいかかりますか？何か助成等は受けられないのですか？

A HIV感染症の治療には健康保険を使うことができます。また、身体障害者手帳の交付を受ければ、医療費の助成を受けることができます。

高額療養費制度・所得保障制度

治療費はその人の身体の状態や治療方針などによって異なりますので、一概に数字を示すことは難しいですが、現在標準的な治療である抗HIV薬の多剤併用療法では、全額自己負担として、**毎月15万～20万円程度**かかると言われています。健康保険を使うと、**国民健康保険も健康保険**（被用者保険）も、共に**3割の自己負担**（3～69歳）となりますので、**抗HIV薬だけで毎月数万円の費用**がかかる計算となります。

実際は、これに再診料や定期的な血液検査などの諸検査料などが加わります。もし、ほかに何か予防しなければならない日和見感染症等があったり、治療を必要とする病気があれば、さらに費用はかかります。

ただ、一般の病気と同様、例えば高額療養費制度などの医療費助成制度や、傷病手当金や生活保護などの所得保障制度などを利用することが可能です。

身体障害者手帳の交付

HIV感染症は**免疫機能障害として、身体障害者手帳の申請も可能**です。身体障害者手帳の交付を受けると、心身障害者医療費助成や更生医療（原則1割負担）などの医療費の助成を受けたり、その他各種手当の給付や税金の軽減、公共料金の割引、運賃等の割引などのサービスを受けることができます。しかし、身体障害者手帳の等級や所得の制限を設けているものもあり、市町村によっても受けられるサービスに違いがあります。

抗ウイルス薬には大きく分けて3種類あります。

- ・ **逆転写酵素阻害薬**（AZT,ddl,ddC,d4T,3TC等）
- ・ **プロテアーゼ阻害薬**（リトナビル、インディナビル、サキナビル、ネルフィナビル等）
- ・ **非核酸系逆転写酵素阻害薬**（ネビラピン、デラビルジン等）

また、これらの薬には様々な特徴があります。

- 1) 1日あたりの服用回数
（例：2回、3回、8時間おき等）
- 2) 薬を飲むタイミング
（例：ddlは空腹時、インディナビルは食事1時間以上前で食後2時間以上）
- 3) 薬の保存の仕方
（例：リトナビルは冷蔵庫保存、インディナビルは湿気厳禁）
- 4) 薬の飲み方
（例：インディナビルは腎結石予防のため普段飲んでいる水に加えて1.5ℓの水が必要）
- 5) 今持っている感染症や疾患により、併用してはいけない薬がある
- 6) 薬の値段が高い

エイズの症状について

「HIV感染」と「エイズ発症」は異なるということを、再度確認してくださいね。

Q HIVに感染したらどのような症状がでますか？

A ほとんどの場合、感染初期には目立った症状はありません。しかし数週間以内に、熱、発疹、リンパ節の腫れ、疲労感などさまざまな症状が起こり、数週間続きます。その後、これらの症状は消えますが、リンパ節だけは腫れが続きます。感染した場合、症状がなくても、感染力は早い時期からあります。HIVに感染してからエイズを発症するまでには何年もかかり、10年以上たってから発症する人もいます。エイズを発症するまでは、まったく元気な人もいれば、リンパ節の腫れ、体重減少、疲労感、繰り返し起こる発熱、下痢、貧血、口の真菌感染症(鵝口瘡[がこうそう])など、種々の非特異的な症状が出る人もいます。エイズの主な症状は、HIVの感染によって起きる特定の**日和見感染症**や**癌**による症状です。HIVは**脳に直接感染**することもあり、記憶障害、脱力感、歩行困難、思考や集中が困難になる認知症が起こります。一部の人は、明らかな原因がなくても、エイズ羸瘦(るいそう)といって体重が著しく減少することがあり、おそらくHIVが直接関与しているものと思われます。エイズの人における羸瘦は、連続して感染症にかかったり、結核のような持続的な感染症を放置したりしていたときにも起こります。腎不全もHIVが直接原因となって起こりますが、白人より黒人に多い傾向があります。**カポジ肉腫**は皮膚に痛みのない赤紫色の隆起した斑点ができる癌で、多くのエイズ患者、特に男性同性愛者に多くみられます。免疫系の癌(リンパ腫、特に非ホジキンリンパ腫)も発症しますが、初めに脳に出現すると、錯乱、人格の変化、記憶障害が現れます。女性は子宮頸癌(しきゅうけいがん)、男性同性愛者は直腸癌にかかりやすくなります。エイズによる死亡は通常、羸瘦、認知症、日和見感染症、癌などの症状が重なったことが原因となって起こります。

エイズに伴う主な日和見感染症

- ・ **カンジダ食道炎** (嚥下痛、胸やけ)
- ・ **カリニ肺炎** (呼吸困難、せき、発熱)
- ・ **トキソプラズマ症** (頭痛、錯乱、傾眠、けいれん発作)
- ・ **結核** (発熱、寝汗、体重減少、胸痛)
- ・ **マイコバクテリウム-アビウム複合体感染症** (発熱、体重減少、下痢、せき)
- ・ **クリプトスポリジウム症** (下痢、腹痛、体重減少)
- ・ **クリプトコッカス髄膜炎** (頭痛、発熱、錯乱)
- ・ **サイトメガロウイルス感染症** (眼では失明、腸管では下痢、体重減少)
- ・ **進行性多巣性白質脳症** (体の片側の脱力感、協調運動やバランスの喪失)

HIVは感染しても長期に渡り
症状が出ないことが多いため、
検査をしないとわからず
自分でも気がつかない
場合が多いのですね…。

広げようレッドリボンの輪！

昨年ご紹介しましたが、財団では、エイズ予防の輪が広がっていくようにとの願いを込めて、レッドリボンという名前のバラを大切に育てています。その花びらは真紅のベルベットのような肌触りで、そこからレッドリボンと名付けられたそうです。このレッドリボンの挿し木を成功させ、ゆくゆくはこのバラを配りながらの予防活動しよう！と希望を抱きながら、スタッフ一同バラの増やし方を勉強中です。



レッドリボンは、イギリス原産、四季咲き、中輪房咲きで木立性のフロリバンダ系品種のバラ(小ぶりな花が房状に咲くのが特徴)です。花弁の色はブライト・レッド(鮮赤色)で、芳香はさほど強くなく、花は八重で一本の茎にたくさん咲きます。

参考HP:<http://www.rogersroses.com>

*** 寄付金はこちらまで ***

口座名義:ユネスコ協賛 (財)世界エイズ研究予防財団 日本事務所

銀行名:大垣共立銀行 本店 口座番号:普通 715083

ご存知ですか？
レッドリボン
の意味



“レッドリボン(赤いリボン)”は、もともとヨーロッパに古くから伝承される風習のひとつで、病気や事故で人生を全うできなかった人々への追悼の気持ちを表すものでした。この“レッドリボン”がエイズのために使われ始めたのは、アメリカでエイズが社会的な問題となってきた1980年代の終わり頃でした。このころ、演劇や音楽などで活動するニューヨークのアーティスト達にもエイズが広がり、エイズに倒れて死んでいく人達が増えていきました。そうした仲間達にたいする追悼の気持ちと**エイズに苦しむ人々への理解と支援の意思**を示すために“赤いリボン”をシンボルにした運動が始まりました。この運動は、その考えに共感した人々によって国境を越えた世界的な運動として発展しています。

チャリティー御協力への御礼



レッドリボンバッジ・オリジナル絵葉書セット (各千円)

今年も皆様から暖かいご協力をいただきありがとうございました。チャリティーグッズの販売の収益金および皆様の寄付金は、アフリカ、コートジボワールにあります当財団のアビジャンエイズ研究センター(1996年4月、コートジボワール政府とユネスコの協力を得て設立)へ治療・研究費として送金や配布用の小冊子購入に使わせていただいております。

世界エイズ研究予防財団 日本事務所

〒501-0501岐阜県揖斐郡大野町稲富1956 Tel: 0585-34-3850 Fax: 0585-34-3858
E-mail: wfarpo@ori-japan.com Website : <http://www.ori-japan.com> 内

